



クラウドファンディング、
まもなくスタートします！
<https://readyfor.jp/projects/npacc>

日本の対人援助を刷新する

「ナラティブ・セラピー」の 本格的な拠点を つくる！

ナラティブ実践協働研究センター(NPACC)は、ナラティブ・セラピーとその訓練を本格的に提供する、日本ではじめての拠点となります。

ナラティブ・セラピーとは、オーストラリア人のマイケル・ホホワイトとニュージーランド人のデイヴィッド・エプストンという2人のセラピストの貢献を中心に形作られた治療的枠組みで、世界中に広がってきています。

これは、疾患名や障害名、あるいは人格特性のような分類名に代表されるレッテルを人にあてはめ、そこからその人を理解していくようなものではありません。そうではなく、すべての人には自分の人生を生き抜いていくことができる資質、能力、可能性があるのだという姿勢で接していきます。そして、どのようにしたらそれを語ることができるのか、さらに、そのことを自分のこととして認めていけるのか、に取り組んでいきます。この姿勢を「希望を掘りあてる考古学」と比喩的に

呼ぶことがあります。

NPACCは、カウンセリングを一对一で話し合うものであるとする枠組みには留まりません。「アウトサイダー・ウィットネス&リフレクティング・チーム」という形式によって、相談に来た人のところに響いていくような心理援助を目指します。

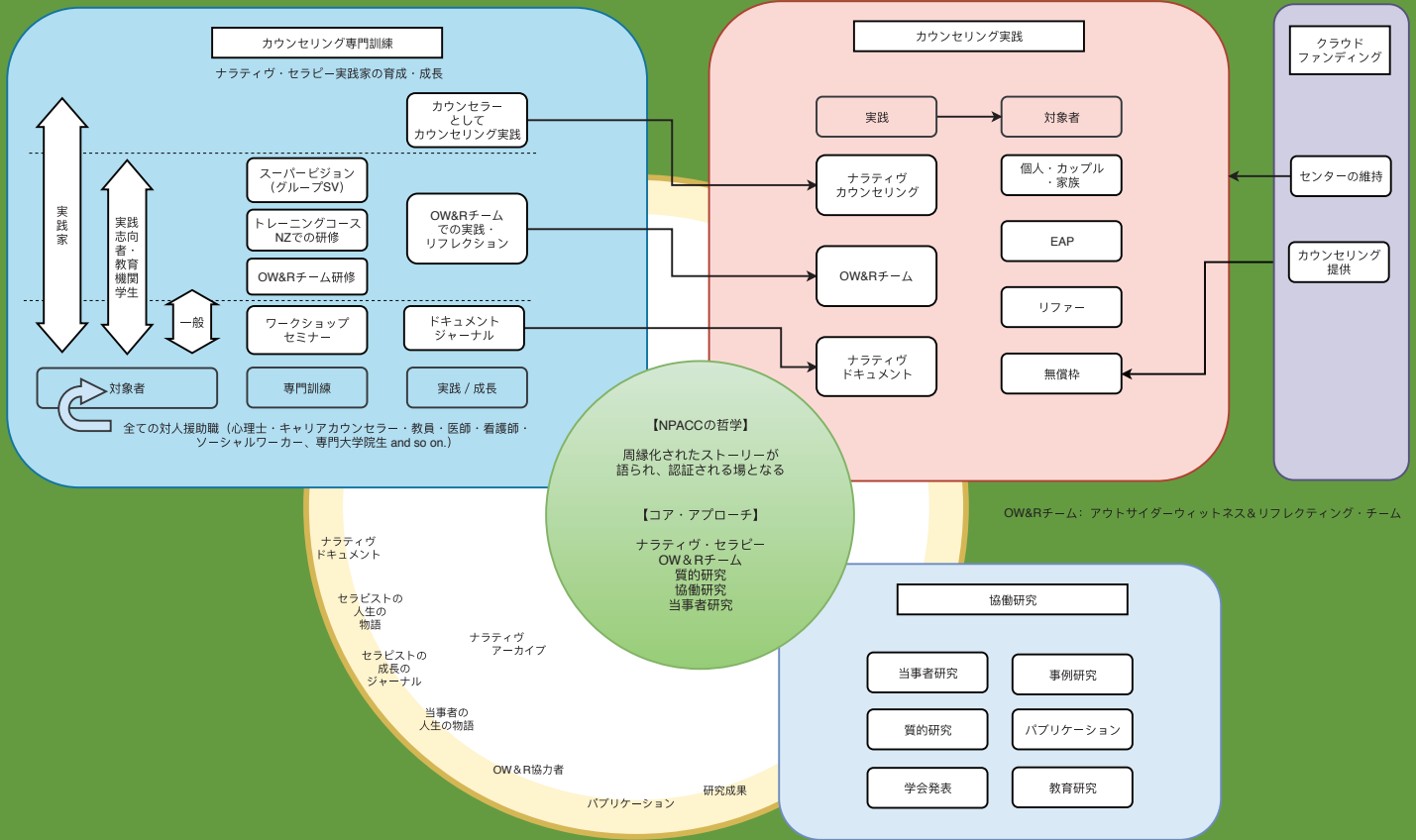
またNPACCは、対人支援の職に就く人々に対して、専門トレーニングを提供します。これは、しっかりと人のカウンセリング会話を見る機会を提供し、そして会話自体の訓練と、対話による学習をベースとした、たいへん理にかなった方法です。

そして、協働研究事業や知の公共化と呼べる取り組みによって、社会貢献をして行きたいのです。

財源もないところからのスタートですので、一つひとつ着実に取り組んで行かなければなりません。しかし、自分たち自身に対して課しているミッションステートメント(裏面記載)を見失うことなく、取り組んで行きたいと切に願っています。どうか、ご支援のほどお願いいたします。

ナラティブ実践協働研究センター・スターティングメンバー一同





ミッションステートメント (私たちの信条)

「人が問題なのではない、問題が問題なのである」
 「周縁化された物語が語られ、認証される場となる」
 「その人こそが、その人自身の人生の専門家である」
 「支えられる構造と実践で、技術を磨き続ける」
 「人と人が出会うこと、つながることの価値を知る」
 「協働への可能性を開き、持ちうる知を公共のものにしていく」

NPACCスターティングメンバー

- ☆ 横山克貴 (臨床心理士 東京大学大学院教育学研究科)
- ☆ 白坂葉子 (臨床心理士 鹿児島大学大学院臨床心理学研究科卒)
- ☆ 浅野衣子 (キャリア開発カウンセラー キャリアコンサルタント 同志社女子大学卒)
- ☆ バーナード紫 (翻訳家 コミュニティ通訳士 ロンドン大学教育研究所修士課程卒)
- ☆ 国重浩一 (臨床心理士 NZカウンセラー協会員 ワイカト大学カウンセリング大学院卒)

ナラティブ実践協働研究センター (Narrative Practice and Coresearch Centre)

Website: <https://npacc.jp/>
 Email: narrative@npacc.jp

Facebook: <https://www.facebook.com/npacc.jp/>
 Twitter: <https://twitter.com/npaccjp>
 Instagram: <https://www.instagram.com/npaccjp/>

